



令和4年1月10日発行
さんあい広報タスクチーム

児童養護施設さんあい 一時保護所オリーブ ファミリーホーム三愛茜の里 自立援助ホーム三愛子ひつじ寮

それぞれの良心

施設長 高瀬 一使徒



さんあいの夏みかんの木

皆さま、新年明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願い致します。

2年前から続く未曾有のコロナ禍から私たちは様々なことに気づかされます。1つは、それぞれの立場からコロナに対する提言とそれに対する反応です。例えば医療従事者は感染拡大を抑えるために厳しい外出制限を提言します。一方、コロナ禍で大きな打撃を受けている飲食業

界や旅行業界を考慮する立場の方々は、感染防止措置をとりながらの緩やかな外出制限を提言します。どちらもそれぞれの立場にある良心にしたがって提言しているわけです。どちらかが悪でどちらかが善という議論ではないのですが、私たちはともすれば善悪の議論に終始し、一方に組し一方を断罪します。でもこれは正しい態度とは言えません。福祉の現場も同じようなことが起こります。安心・安全を最優先に考える人と尊厳や権利を最優先に考える人では、子どもの行動制限について意見の食い違いがあります。しかし、それぞれが良いのです。それぞれが正しいのです。必要なのはよく議論してお互いの立場を理解した上で、決定者がその権限と責任において決定するということです。聖書の中にも、イエス・キリストが天に上げられた後に弟子たちの間で、ユダヤ人以外の人々に対する戒律の適用について激しい議論があったと記されています。日本人は議論を避ける傾向にありますが、聖書では議論を悪いこととはとらえていません。さんあい働いている方々は、基本的にみんな優しい職員だと思います。社会的な名声やお金を最優先に考える人は、そもそもこの業界へは入ってきません。みんな子どものために良いことをしたいという良心を持っています。そのことを施設長として尊敬し大切にしたいと願っています。

さてコロナ禍の子どもたちのことですが、本当によく頑張ってきたと思います。さんあいだけでなく、日本の子どもたち全体です。2年前突然の休校に始まり、制限された中での入試、そして卒業式や入学式、外出制限、短い夏休み、運動会や修学旅行等の中止、地域のお祭り等の様々な楽しいイベントの中止、、、。神様は私たちを大切に扱ってくださいます。いたずらに苦しみをお与えになる方ではないと信じています。ですからこれらのマイナスと思える出来事もこれからの歩みの中できっとプラスに変えて下さると信じて新年も歩みたいと思います。

施設の改修整備

将来を見据えながら施設の改修整備を幾つかの助成金を用いて進めました。

- ◆ファミリールーム（親子訓練室）を、子どもがコロナ等に感染した際の一時隔離部屋に使用できるようにロフトを作り、職員を含め3名程度が泊まれる様に改築いたしました。
今後は自立訓練や実習生室等の多目的にも使用できます。



- ◆通用口に向かう木製のぶどう棚の一部が朽ちてきていたので、アルミ製の棚に取り替えました。これで安心して子どもたちが棚の下を通ることができますし、今後もし取り替える必要がありません。

- ◆一時保護機能の拡大を目指して、実習生室や物置に使用していたユニットを改修致しました。大がかりな改修ではありませんが、壁の補強と和室を職務室用に改修しました。



- ◆職員の定数増加に伴い手狭になってきている駐車場を拡張いたしました。さんあいでは働くには車通勤が必須です。毎年増加している車の駐車スペースを、植え込みの一部を転用して確保することができました。

- ◆備品やバザー用品等を収納している3台のコンテナがほぼ満杯状態になってしまいましたので、1台追加設置いたしました。



さんあいの取り組み

児童養護施設職員の業務は精神と肉体両方を著しく消耗します。しかも休みは子どもの状況に合わせてなので固定した曜日にとることはできません。特に2年近くに及びコロナ禍で休みの時間さえも自粛が要求されています。子どもに対する思いやコミットメントが高い職員でないととても務まらない仕事です。だからこそ施設は職員のメンタルヘルスに対するケアをしっかりと考える必要があります。第6波に備えるために、また感染症の季節に備えるために職員のメンタルヘルスのケアは必須なのです。そこで、さんあいでは非常事態宣言解除と感染者数減少に合わせて、経費は施設が負担する形で職員のレクリエーションを企画しました。1泊旅行コース、日帰り旅行コース、芸術鑑賞コースの3コース、5班に分けて複数参加可能で好きなコースに参加する形にしました。まずは3つの班が楽しんできた様子です。

1 泊旅行班

【11月11日（木）～12日（金）】

- 1日目には、群馬県の前橋市と高崎市の2つの児童養護施設の見学をしました。その後、バーベキューをして高山温泉のコテージで1泊。ルアーフィッシングも楽しみました。



芸術鑑賞班

【11月11日（木）】

• 深谷市の深谷シネマで動物愛護をテーマに描かれ、命の大切さを感じられる作品「犬部！」を鑑賞。昼食は、里山カフェでヘルシーで美味しいランチを頂きました。



日帰り旅行班

【12月2日（木）】

• 静岡県沼津市で、温泉&浜焼き食べ放題に、お得プランでマッサージもしてもらい、リフレッシュできました。美味しい海の幸にお腹も大満足でした。





2021年 さんあいクリスマス



カフェさんあい

12月4日、クリスマスツリー点灯式に先立ってカフェさんあいを開催しました。イエス様誕生の物語をビデオで見て、2000年前のできごとと現代の私たちの世界の様子について思いを巡らしました。続いて園長から子ども達にクリスマスの意味と献金の大切さ、その送り先についてお話しがありました。

クリスマスツリー点灯式

コロナ過で迎える2回目のクリスマス。いろいろと我慢をすることも多い子ども達や職員の気持ちを盛り立てようと、今年は電飾の量を増やしました。点灯式では今まで守られてきたことへの感謝の祈りをささげ、皆でカウントダウンをして光り輝くツリーの園庭で声をあげました。





2021 San-ai Christmas



クリスマス会



昨年は新型コロナの影響から全体での会食は取りやめ、祝会は各居室をオンラインでつないで、出し物はすべて動画配信という形をとりました。今年は新型コロナウイルスの状況も落ち着いてきていたため、外部の方々のご招待は控えたものの、交流ホールでの全員参加でのクリスマス会を行いました。

第1部は礼拝。みんなで心を一つにして祈り、難民支援のために献金をささげました。第2部の祝会は、美味しい食事を皆で堪能し、子ども達や新任职員の出し物で盛り上がりました。



令和4年 新年の抱負

進

ねむのき

令和2年はコロナの影響もあり行動に制限がかかってしまいましたが、ねむのきらしく自由に楽しむことが出来ました。今年は、卒業や進学等それぞれが新しい環境に進みます。ねむのきらしく大きく前に進めることを願っています！

実

いちょう

今年もコロナの影響で制限の多い日々でしたが、子ども達なりに色々工夫しながら楽しく過ごしていました！来年こそはコロナが収まることを願ってさらに充実した日々を過ごしていきたいです！

思

わくのびクラブ

今年度からはじまったワクノビクラブは、子ども達が様々な活動を通して他者の役に立つ経験をし、そのことを通して有用感や自己肯定感を高めることを目指しています。これまで施設周辺の環境整備やお仕事体験、海外の人々の様子を聞くといった活動をしてきました。新しい年も活動を通して、他者の気持ちに「思い」を向け、思いやりの心を育てていきます。

それぞれのホームの新年の抱負を漢字一文字で表しました。

今回はアニマルクラブとわくのびクラブも特別参加です。

会

ぽぷら

ポプラは3歳の女の子が入った事でみんなの優しさが増えました。今年は、沢山の人々と出会う事で、多くの出会いを経験し、成長して欲しいです。出会いの「会」を大切に1年を過ごしたいと思います。

優

アニマルクラブ

動物は側に居る人の気持ちを敏感に感じ取ります。お世話をする人が優しく、そして楽しく接してくれる事が、動物達には何よりの幸せです。互いに優しく接し合い、その幸せを皆で感じながら動物達のお世話の時間が楽しい時間となるように、子ども達と動物達を見守っていききたいという思いからこの字にしました。

男の子ブロックの新年の抱負です。

成

もみのき

昨年もコロナ禍で大変であり、変異種も出て来ている中でもありました。体調管理も大変な年で、後半になって体調不良となってしまうことが多かったので、今年は元気に伸び伸びと成長していけるようにしていきたいです！また、沢山のことに挑戦して、達成感を味わい成長していきたいです！

挑

かしのき

昨年もまだまだ不自由の多い年でしたが 1 年間で大きな成長を見せてくれたかしのきの子どもたち。今年もたくさんの方に挑み、成功や失敗を繰り返しながらさらなる成長を見せてくれることに期待をしています。

優

ひのき

マイペースな子が多いひのきに、新しく仲間が増えました。優しいお兄さんになれるように、周りの人に優しくできるようになってくれるよう、「優」にしました。新年もひのきらしく頑張ります♪

中高生レストラン開店で～す



中高生レストラン

中高生会議の中で、料理やお菓子を作るグループワークがしたいという意見が出ました。それを受け、栄養士を中心にした指導のもと昼食を作ってすべての児童にふるまう企画、名付けて「中高生レストラン」をやろう！という事になり、食育タスクチームが実施に向け段取りをしました。

初めての試みでもあり手探りながら、子ども達とも話し合いを重ね、決まったメニューは炊き込みごはん・チャーハン・オムライス・鶏の唐揚げ・ポテト・肉じゃが・サラダ・漬物・果物・たまねぎのみそ汁・卵のみそ汁・ひとくちホットケーキ。当日は朝から仕込みや調理をして、お昼のオープンに向け、みんなで頑張りました。

出来上がった料理は、心のこもったあったかくて美味しいものとなり、招かれた子ども達も舌鼓をうち、大成功となりました。



終わるころには、ちょっと誇らしげな中高生の姿がありました。

次は「中高生スイーツレストラン」実施を目指します!!



オリーブ

10月には小学生以上がラウンドワン、11月には幼児が群馬サファリパークに外出しました。ラウンドワンでは、バランススクーターやインラインスケート等に挑戦をし、たくさん体を動かしました。アイテムを通し、普段とは違った姿が見られ、子どもも職員も大笑い！群馬サファリパークは、あいにくの雨で残念でしたが、動物に喜んだり、いつもと違った環境に興奮していました。今回、年齢別にわけての外出でしたが、子どもの状況に合わせ、小さな集団にすること、個の大切さを改めて実感しました。(柳井)

茜の里

10月から中3女子児童の一時保護委託を受けました。小4の時から不安定になり、小6の後半から2年間、入院生活をした経緯があります。毎晩、明日は円良田湖畔の散歩にと誘うが、朝起きられません。散歩している近所の高齢者からは「眠り姫」とからかわれていますが、照れくさそうに笑顔で返すことが出来るようになっていきます。また、年末恒例の子ども達による「善かったさがし」では、ここに来てからの変化に対し、みんなから称賛を受けていました。子ども同士の間柄と、お互いの違いを認め合う優しさには感銘しています。また茜の子ども達は、地域に支えられ見守られながら、自立をしていきます。これからも、関心を持って茜の里の子ども達の成長を見守って頂ければ幸いです。(野口)

高校生演奏会

12月19日、東邦音楽大学付属東邦第二高校の生徒4名による素敵なクリスマスコンサートが開かれました。この日のために考えてくれたクリスマスメロデーだけでなく、子どもたちのリクエストに即興で応えてくれる技術に子どもたちも大喜び！高校生のお兄さんお姉さんありがとうございました。来年もお待ちしています！(青木義)

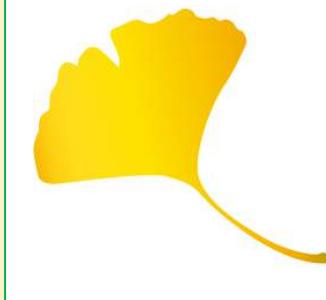


子ひつじ寮

12月12日に子ひつじ寮のメンバーでBBQを開催しました。お天気は晴れ、気温は温かく最高のBBQ日和。直前まで行くか行かないか迷っていた人も、当日の朝は早めに準備を終えてワクワクの様子。「なんだかソワソワします。楽しみ」、「なんだかんだ言って皆、BBQ楽しみにしてんじゃん」と笑いながら話しているのを見て、職員も嬉しい限りでした。BBQは初めてという人もいましたが、炭火で焼くお肉やマッシュマロ、釜炊きご飯をお腹一杯食べました。普段は各々が個人で動いているため一緒に何かをすることは少ないですが共通の体験をすることができてとても幸せな時間でした。これからも皆で素敵な記憶になるようなイベントを共有できたらと思っています。(高橋)



いちよの広場



さんあい1日研修

例年、全職員を対象に1泊で研修を行ってききましたが、昨年は新型コロナウイルスの影響で、実施を見送りました。感染状況が落ち着いてきた11月、宿泊、懇親会は見合わせ、期間を1日に短縮することで実施することにしました。研修では、さんあいの理念を確認し、現在の課題や今後の計画を皆で検討、議論しました。ひざは突き合わせず、“ソーシャルディスタンスを取りながら”でしたが、熱く語り合う時となりました。(平本)

いつもあたたかいご支援ありがとうございます。

ご寄付は同封の振込用紙、又は下記の口座をお願いします。*お名前をお入れください*

埼玉りそな銀行 岡部支店 0058888

編集後記

「かめ」「めだか」「カラス」「すずめ」…最近、保育園の送迎中の車の中はしりとりゲームがブームとなっています。年少児の男の子も頑張って参加します。年中児の男の子はもうすっかり一人前に参加します。さすが年長児の子ども達は沢山の言葉を使ってゲームをリードします。このような、昔からある言葉遊びには子どもの力を引き出す効果が沢山あります。なんととっても語彙力を高められる事。自分以外の人から沢山の言葉を聞く事で子ども達はどんどん新しい語彙を知る事が出来ます。道中の短い時間ですが、子どもの力を引き出す楽しい時間になればいいなと思います。(広報タスク一同)